

O's news



2017年9月1日発行

手術で治せるてんかんもある

副院長 児玉 裕司

一般的に、脳が原因で起こる痙攣発作を「てんかん」と呼びます。てんかんは、手足がガクガクとふるえるような動きをすることが多いですが、手足は動かず突然意識を失うのみだったりなど、発作の見た目は様々です。通常は一時的なものなので、一回の発作が後遺症につながることはほとんどありません。しかしだからといって放置しておく、重積発作という発作が止まらない状態となり脳の障害を残すこともあります。

てんかんは小さい頃から生まれ持った素因を元に起こるもの、というイメージがある方を多く見受けます。しかし中には、後天的な原因で起こるてんかんも多くあります。脳梗塞や脳腫瘍、脳炎などの病気により、その部分の脳の働きが時々不安定となることがあります。例えば運動機能を持つ部分の脳の働きが弱まれば手足の脱力となり、過剰に働けばガクガクという動きとなります。これが脳全体に広がってしまうと意識を失うこととなります。

後天的なてんかんの多くは、脳梗塞や脳出血、脳炎などの結果脳に生じた「傷」が原因と

なります。これを症候性てんかんといいます。残念ながらこの傷の修復はできないため、完全に発作が起こらないようにする根本的な治療はできません。このため、てんかんを起こさない安定した脳の状態を維持できるように整える必要があり、お薬を内服していただきます。しかし脳腫瘍などのように、あとから「余計なもの」が発生し周辺の脳に影響しててんかんの原因となっている場合は、これを取り除くことで発作を消すことが可能です。脳腫瘍だけでなく、血管の異常（脳動静脈奇形や血管腫など）が原因の場合もあり、同様に取り除くことで発作を消すことが可能です。これらはMRIで発見される病気です。

もし初めててんかんを起こした方で脳の検査を受けたことがなければ、原因となる脳の病気がないかMRIで確認することは大事です。



大西脳神経外科病院の理念

生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術と人間愛をもって病める人々に奉仕する。

大西脳神経外科病院の基本方針

- 1.生命と人権を尊厳した医療を実践する。
- 2.神経疾患の専門的・高度医療を実践する。
- 3.常に新しい医学の修得に励む。
- 4.救急医療は医療の原点と考え、24時間対応する。
- 5.地域の医療機関との連携を密にし、地域協力型の医療を志向する。

患者さまの権利と責務

- 1.ご病気になられた場合は、私どもの良好な信頼関係のもと、平等・公平に当院における最高の医療をお受けいただく権利があります。
- 2.ご病気に関しては、わかりやすく納得いく説明を受け、治療をお受けいただく権利があります。
- 3.ご自身の診療記録については、開示を求める権利があります。適当と判断できれば、ご本人、あるいはご家族に診療記録を開示いたします。
- 4.また、その診療情報が他人に漏れないように求める権利もあります。
- 5.治療方針については、第三者の意見を聞くことができる権利があります。その場合、私どもは、必要とされる医療情報の全てを提供いたします。
- 6.私どもが、上記のことを達成し、良質で安全、効率的な医療をご提供するために、患者さまには、次のことをお願いいたします。
 - ①ご自身の健康に対する正しい情報の提供と、医療への積極的な参加
 - ②他の患者さまの診療に支障をきたさないためのご協力



第7回 オープンホスピタルを終えて

医療技術部副部長 吉野 孝広

2011年に地域貢献の一環として始まったオープンホスピタルを、今年も例年通り8月に開催しました。約50名の参加者を6グループに分け、各部署が企画した見学や医療系模擬体験を行いました。楽しみながら脳神経外科病院で働く職種を理解して頂くことや、これから医療従事者を目指す若い方々への動機付けが具体的な目的です。

7月に入り準備委員会を立ち上げ、その後は開催まで毎週会議を行い、見学体験のルート変更やグルーピング、受付方法や当日の設営などを準備しました。また見学体験コーナーにかかわるスタッフは、どうしたら参加者が自分たちの職種を理解してくれるのか、興味を持ってくれるのか考え企画しました。当日は実戦さながらの模擬体験や熱意のある説明で参加者にも思いは伝わったのではないのでしょうか。私たちは、このオープンホスピタルを通じて近い将来、参加していただいた方々が医療の現場で活躍することを望み、これからもオープンホスピタルをより良いものとしながら続けていきたいと思えます。





9月

\ 日本の四季暦 /

「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子

ながつき
長月

暑さが少しずつおさまり、涼しい風が吹き始めます。夜が長くなる頃という「夜長月(よながつき)」が「長月」に変化してゆきました。



十四節気
処暑
しよしょ

9/2~6(四十二候) **禾乃登** / こくもつすなわちみのる
空が少し高く感じるこの頃、稲穂が金色に輝く季節を迎えます。「野分け」と呼ばれる二百十日前後に吹く台風が次々とやってきます。



十五節気
白露
はくろ

夜の間に大気が冷え、朝の草花に透明な露を結びます。9月9日は「重陽の節句」です。

9/7~11(四十三候) **草露白** / くさのつゆしろし

朝晩涼しくなり、草に降りた露が白く光ってみえます。青い小さな花が愛らしい「露草」、英名も「Day flower」(その日のうちにしぼむ花)という意味をもち、万葉集でも詠まれ、秋の季語でもあります。

9/12~17(四十四候) **鶴鴒鳴** / せきれいなく

黒と白の羽根、せきれいが鳴きます。暑さの少し収まった頃出回る「秋なす」、実が締っておいしくなります。赤、ピンク、黄、白など道端でたくさんの花を咲かせる「白粉花」、おしろいぼん黒い実をつぶして白い粉を顔につけて遊んだ子供の頃、なつかしいですね。



9/18~22(四十五候) **玄鳥去** / つばめさる

子育てを終えたつばめが、数千キロを飛び南の国へ帰ってゆきます。風に揺れる「秋桜」コスモス、日本の秋の風景です。メキシコ原産で江戸末期頃到来し、明治の頃一般に普及しました。



十六節気
秋分
しゅうぶん

秋分の日を過ぎると、夜の時間が長くなります。おみなえし、おぼな(すずき)、きききょう、なでしこ、ふじばかま、くず、はぎ、秋の七草です。

9/23~27(四十六候) **雷乃収声** / かみなりすなわちこえをおさむ

9月23日「秋分の日」の前後3日間が秋のお彼岸です。「暑さ寒さも彼岸まで」雷も聞こえなくなり、虫の声に静かな秋を感じます。萩の花に由来する「おはぎ」あたたかい日本茶を入れて、美味しくいただきましょう♪



9/28~10/2(四十七候) **蟹虫坏戸** / むしかくれてとをふさぐ

やがて来る寒さに向けて、穴を掘ったり、もぐったりして戸をふさぐように冬ごもりの支度をする頃です。入江や河口、磯で見られる「沙魚(はぜ)」、7月から9月に美味しくなり、天ぷらや唐揚げがおすすめです。



今月の花

ハイビスカス

アオイ科フヨウ属
原産地: インド洋諸島、太平洋諸島

花期: 6~10月
花言葉: 「繊細な美」「新しい恋」



南国の花木を代表する華やかな花ハイビスカス、赤、黄、オレンジ、ピンクなど、明るく鮮やかな花を次々と咲かせます。

フヨウの仲間は一曰花で、朝咲いた花は夕方に終わります。

夏の花のイメージがありますが、30℃以上の真夏の高温は苦手、花も咲きにくく9~10月が見頃となります。毎日咲き続ける為に、液体肥料を一週間に一度、日光によく当て、水やりをしっかりと続けられれば、長い期間花を楽しむことができます。今までお花に興味のなかった男性が、次々と花の咲く楽しさにハマって♪しまうことが多いそうです♡



Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	林	兒玉
	午後	—	大西(宏)	久我	林	兒玉
2診	午前	高橋	津田	角田	埜本	担当医
	午後	高橋	津田	角田	—	担当医
3診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	津田	金光	津田	津田	古家一
	午後	津田	金光	津田	津田	三好
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	佐藤	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	富士井	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 林	脊椎・脊髄外来 山本
7診	午前	神経内科 立花	奇数月第4火曜日	—	内科 竈門(カマド)	神経内科 上田
	午後	—	てんかん 丸山	—	内科 竈門(カマド)	<13:00-> 麻酔科 鈴木

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H29.9)

連携協力医療機関のご紹介(No.134)

医療法人社団 奉志会

大西メディカルクリニック

院長:大西 奉文

認定資格:整形外科専門医

診療科目:内科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科

住所:兵庫県加古郡稲美町国岡2-9-1

電話:079(492)0935

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
整形外科	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
	16:00~19:00	○	○	○	/	○	/	/	/
内科※1	午前	○	○	○	○	○	○	/	/
	午後	○	○	○	/	○	/	/	/
循環器内科	9:00~13:00	/	/	/	○	/	/	/	/

※診察の受付は午前・午後ともに終診時刻の30分前までとさせていただきます。
※1 内科の診療時間はお問い合わせください。

大西院長からのメッセージ

脳外の救急では24時間いつでも受け入れて頂き、助かっております。当院は、がんの早期発見と寝たきり予防に向けて地域医療に貢献していきたいと思っております。



連携協力医療機関のご紹介(No.135)

ここの眼科

院長:河野 やよい

認定資格:日本眼科学会専門医

診療科目:眼科

住所:兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和1420-1

電話:078-978-5140

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	/	○	○	/
午後(15:30~18:00)	/	/	○	/	/	/	/

河野院長からのメッセージ

先生方には多くの方を助けて頂き、感謝しております。これからも『患者さんを診る』をモットーに、診療に向き合いたいと思います。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

